



# 戦災文化財

失われた沖縄の文化財と取り戻した軌跡

War Damaged Cultural Properties in Okinawa

令和7年度 沖縄戦後80年 博物館特別展



沖縄県立博物館・美術館  
3階 博物館企画展示室、特別展示室1・2

[開館時間] 9:00~18:00 (金・土は20:00まで)  
※入場は閉館の30分前まで  
[休館日] 毎週月曜日、10/14(火)、11/4(火)、11/25(火)  
※10/13(月)、11/3(月)、11/24(月)は祝日のため開館

[特別協力] 沖縄タイムス社  
[後援] 沖縄県教育委員会、琉球新報社、琉球朝日放送、NHK沖縄放送局、  
沖縄テレビ放送、琉球放送、ラジオ沖縄、エフエム沖縄、  
エフエム那覇、FMレキオ、沖縄ケーブルネットワーク

2025.9.30<sup>tue</sup> 火 ▶ 11.30<sup>Sun</sup> 日

〈掲載作品〉上から【有形文化財】銅鐘残欠(旧波上宮朝鮮鐘)956年、【有形文化財】釈迦如来坐像(旧円覚寺関係木彫資料)1670年、  
【重要文化財】ようどれのひのもん・極楽山碑文(琉球国時代石碑)1620年、【有形文化財】獅子座(旧円覚寺関係木彫資料)1670年  
〈背景写真〉首里城の城壁から北向きに眺めた壊滅状態の首里の町(沖縄県公文書館蔵)1945年 ※掲載作品は、すべて沖縄県立博物館・美術館蔵



**沖** 縄戦では住民を巻き込んだ激しい  
戦闘が繰り広げられ、多くの尊い  
命とともに町並みや風景だけでなく、  
先人たちが生み出した数々の文化財も  
失われました。

今年、沖縄戦終結から80年の節目を  
迎える中、世界のいくつもの地域で戦闘が  
続き、かけがえのない命とともに多くの  
文化財も失われています。

本展では、沖縄戦で被害を受けた  
文化財を通じて戦争の傷ましさを知り  
平和の重要性を考えるとともに、先人が  
築いた沖縄独自の文化財を取り戻して  
きた軌跡を紹介いたします。

## 第1章

### 失われた沖縄の文化財

#### —破壊・流出—



▲首里城正殿模型(1953年)



▲守礼門復元工事落成式(1958年)

激しい戦闘の結果、破壊や流出  
等の被害を受けた文化財から、  
沖縄戦の傷ましさを伝えます。



▲印「海表恭瀟」(19世紀初頭)

## 第2章

### 取り戻した沖縄の文化財

#### —収集・復元・返還—

戦後、ゼロからの出発を  
強いられる中、がれきに  
埋もれた<sup>ごみくず</sup>残欠や本土へ  
渡った文化財の収集活動、琉球王国時代の建造物や  
美術工芸品等の復元、米国へ持ち去られた文化財の  
返還の軌跡を紹介します。

## 第3章

### 平和を求めて

※写真展示

県民から募った、未来へ伝えたい  
平和を求める沖縄の姿の写真を  
通じて、平和の重要性を考えます。

### 「未来へ伝えたい“戦災文化財”」

## 文化講座

▶3階講堂  
▶定員:200名

当日先着順

10月18日  
(土)

沖縄戦における首里周辺の部隊配置  
—日本軍の戦略的背景—

▶仲程勝哉氏  
(沖縄県平和祈念資料館学芸員)  
▶14:00~16:00

11月15日  
(土)

文化財返還の取り組みと  
帰ってきた御後絵

▶萩尾俊章氏(沖縄民俗学会会長)  
濱地龍磨氏  
(沖縄県教育庁文化財課主任)  
▶14:00~16:00

## 学芸員講座

▶3階講堂  
▶定員:200名

当日先着順

10月11日  
(土)

沖縄戦後80年博物館特別展  
「戦災文化財」の展示紹介

▶崎原恭子(当館学芸員)  
▶14:00~16:00

11月8日  
(土)

琉球ルネサンス—近代化、そして  
沖縄戦で失った文化を今この手に—

▶伊禮拓郎(当館学芸員)  
▶14:00~16:00

## 展示解説会

▶3階特別展会場  
▶定員:15名程度

当日先着順

※当日有効の『戦災文化財展』観覧券が必要です

①10月26日  
(日)

▶崎原恭子(当館学芸員)  
▶①15:00~16:00

②11月21日  
(金)

▶②18:00~19:00  
※開催日によって時間が異なります

## 特別講座

▶3階講堂  
▶定員:200名

当日先着順

10月26日  
(日)

沖縄歴史建造物保存百年史のなか  
の戦後建造物復元と貢献した人々

▶伊従勉氏(京都大学名誉教授)  
▶10:00~12:00

11月2日  
(日)

琉球歴史研究会の足跡  
—沖縄戦の戦利品収集から  
文化財の返還まで—

▶喜舎場静夫氏  
(NPO法人琉球歴史研究会理事長)  
園原謙氏  
(沖縄県文化協会事務局長)  
▶14:00~16:00

11月24日  
(月・祝)

写真が語る沖縄  
—沖縄戦前後の風景—

▶当山昌直氏  
(公財)沖縄県文化芸術振興会嘱託員)  
▶14:00~16:00

## フィールドワーク

▶那覇市おもろまち~首里

事前申込制

11月23日  
(日)

首里の戦跡と  
戦災文化財の痕跡をめぐる

▶大城直也、崎原恭子(当館学芸員)  
▶9:00~12:00 ▶定員:20名程度  
▶対象:小学4年生以上  
(小中学生は保護者同伴)  
▶当日保険料を徴収します(詳細は10月  
中に展覧会ホームページに掲載します)

※事前申し込み先  
(11月1日から、先着順)  
展覧会ホームページ内の専用フォーム

## 特別公演

▶3階講堂

事前申込制

11月3日  
(月・祝)

「お笑い米軍基地 in おきみゅー」

▶出演:FECオフィス  
▶14:00~16:00  
▶定員:200名

※事前申し込み先(10月1日から、先着順)  
Tel 098-941-8200  
もしくは当館総合案内・ホームページ

## コンサート

▶エントランスホール

10月18日  
(土)

おきがい出前コンサート  
琉球舞踊鑑賞会

▶出演:沖縄県立芸術大学音楽学部  
音楽学科 琉球芸能専攻学生  
同学科准教授 嘉数道彦氏  
▶12:10~12:50

## 「沖縄県史 ビジュアル版14 沖縄戦」刊行記念 パネル展およびシンポジウム

▶主管:沖縄県教育委員会(文化財課史料編集班)  
※お問い合わせ先 Tel 098-888-3939

10月28日(火)  
~12月7日(日)

パネル展  
▶3階講堂前ホワイエ

12月6日  
(土)

シンポジウム 当日先着順  
▶3階講堂  
▶14:00~17:00  
▶定員:200名

※イベントの詳細は  
展覧会ホームページをご覧ください



## 【観覧料金 Admission】

|                                                      |                 |
|------------------------------------------------------|-----------------|
| 一般 General admission                                 | ¥1,500 (¥1,200) |
| 高校・大学生 High School, College, and University Students | ¥1,000 (¥ 800)  |
| 小・中学生 Elementary and Junior High School Students     | ¥ 500 (¥ 400)   |
| 未就学児 Preschool aged                                  | 無料 Free         |

※( )内は前売料金および20名以上の団体料金

※障がい者手帳、療育手帳をお持ちの方、および介助者1名は当日料金の半額

\* Prices shown in ( ) are rates for tickets purchased in advance and for groups of 20 or more.

\* People with disabilities and one accompanying caregiver are eligible to receive 50% off their admission fee on the day of their visit. (Please bring an ID for verification.)

## 【プレイガイド Ticket Agency】

▶ミュージアムショップゆいむい Museum Shop Yuimui  
(沖縄県立博物館・美術館内)

▶ローソンチケット Lawson Ticket (L-code: 83203)  
(Lコード 83203)



沖縄県立博物館・美術館  
Okinawa Prefectural Museum and Art Museum  
あなたの沖縄に出会う

〒900-0006  
沖縄県那覇市  
おもろまち3-1-1  
TEL 098-941-8200  
(代表)

